

# 一球通信 vol.209



## 秋季リーグ戦が終了しました

- 01 秋季リーグ戦試合レポート
- 02 秋季リーグ 3・4 部入替戦試合レポート
- 05 冬季オープン戦日程

広島商業高校、神宮大会出場

# 秋季リーグ戦試合レポート

9月7日(土)より開幕した令和6年度秋季リーグ戦は、11月9日(土)に東京科学大学との第4週第3回戦が行われ、予定されていた一橋大学の全日程が終了いたしました。最終的な戦績は、12勝1敗勝ち点6で、4部優勝を果たしました。

以下、当日ベンチに入ったマネージャーの試合レポートです。試合動画・試合ブログとあわせてぜひご覧ください。

## 11/9(土) 一橋大学 vs 東京科学大学 @芝浦工業大学グラウンド

○13-1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
一橋大	0	0	1	1	0	0	1	4	6	13
科学大	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

【投】上妻(5回) → 小池(瑠)(3回) → 森田(壮)(1回)

【捕】前田、川嶋

[二] 中尾(9回)、川嶋(9回)、檜山(9回)

[試合動画\(バッテリカメラ\)](#)は[こちらから](#)、[試合動画\(全体カメラ\)](#)は[こちらから](#)  
[試合ブログ](#)は[こちらから](#)

試合が最初に動いたのは2回裏、ピッチャー上妻(2年)の連続四球と暴投により先制点を取られてしまいます。

しかし3回表に四球で出塁した2番泉川(3年)が、盗塁を成功させた後、捕球エラーの間にホームへかえりすぐに同点に追いつきます。

4回表にはサードの捕球エラーで出塁・2塁まで進塁した5番片平(3年)に代わって、野嶋(2年)がランナーとなると、6番中尾(3年)が送りバント、7番前田(4年)がヒットを放ち、見事なチームプレーで追加点1点を獲得します。

7、8回裏には相手チームの失策や四死球が続き5点を追加、9回裏にピッチャーが交代するとツーベースヒットが次々と放たれさらに6点を追加します。守備では先制点は取られたもののその後は守りきり試合は13-1という大差で終了いたしました。(2年 MG 佐藤)



↑4年・松下



↑4年・川嶋(左)、森田(壮)(右)

# 令和6年度秋季3・4部入替戦

11月16日(土)、17日(日)に、3部6位の順天堂大学と入替戦を行い、3部昇格をかけて戦いました。成蹊大学に大敗した春季入替戦とは異なり、2試合ともに先制に成功し、均衡した試合展開が続きましたが、最後は一步及ばず2連敗で4部残留が決定いたしました。以下、ベンチに入った4年マネージャーによる試合レポートです。試合動画・ブログと合わせてぜひご覧ください。

## 11/16(土) 順天堂大学 vs 一橋大学 @明治神宮球場

●8-3

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
順天大	0	2	0	0	0	0	5	1	0	8
一橋大	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3

【投】 泉川 (6回 0/3) → 齋藤 (0回 1/3) → 上妻 (1回 2/3) → 小池(瑠) (1回)

【捕】 前田

[試合動画 \(バッテリカメラ\)](#) はこちらから、[試合動画 \(全体カメラ\)](#) はこちらから  
[試合ブログ](#) はこちらから

弊学は初回、1番神谷のヒットを皮切りに、6番森田(周)のタイムリーツーベースで2点を先制しました。しかし、2回表に連続四球で走者を許すと、内野ゴロやタイムリーヒットで2点を返され、試合は振り出しに戻ります。先発の泉川は中盤にかけて調子を上げ、5、6回を三者凡退に抑えるなど奮闘しましたが、7回表に先頭打者に四球を与え、ここでマウンドを降りました。後続の齋藤が制球を乱し、四死球やワイルドピッチが重なり、一挙5失点を喫します。反撃の最終回となった9回裏、松下や神谷、泉川の出塁で無死満塁の好機を作り、3番尾実の犠牲フライで1点を返しましたが、後続が抑えられ反撃はここまで。打撃面では10安打を記録し、順天堂大学と互角の内容を見せましたが、四死球による失点や投手交代のタイミングが試合の明暗を分ける結果となりました。(4年 MG 向井)



↑3年・泉川



↑2年・森田(周)

## 11/17(日) 一橋大学 vs 順天堂大学 @明治神宮球場

●2-4

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
一橋大	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
順天大	0	1	0	2	1	0	0	0	X	4

【投】 齋藤 (6回) → 泉川 (2回)

【捕】 前田

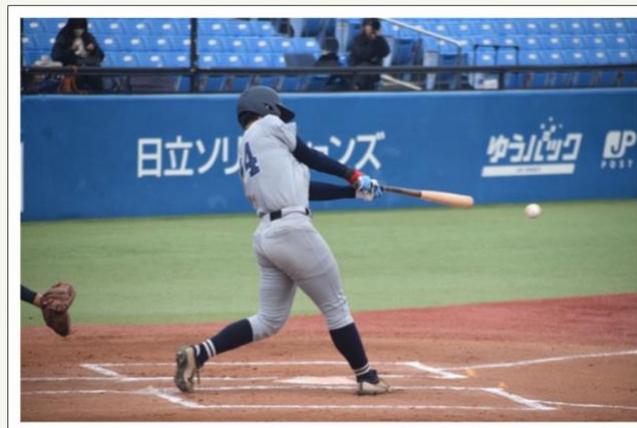
[二] 木村 (5回)

[試合動画 \(バッテリカメラ\)](#) はこちらから、[試合動画 \(全体カメラ\)](#) はこちらから  
[試合ブログ](#) はこちらから

初回、2番泉川が四球で出塁、3番尾実のゴロの間に進塁し、2死2塁とすると、4番檜山のライトへのタイムリーヒットで先制に成功します！先発を任された齋藤は、初回無死2塁のピンチを切り抜けますが、2回裏に1死1・3塁からレフトへの犠牲フライを打たれ同点に追いつかれます。4回裏に2点を追加され迎えた5回表、9番木村がレフトへのツーベースヒットで出塁すると、続くバッターのゴロの間にホームに生還し、点差を1点に縮めます！追加点を与えることなく試合後半を迎えたい場面でしたが、5回裏に1点を追加され、点差を2点に広がられます。6回、8回にはヒットが出ますが追加点を奪うことはできず、2-4で敗戦となりました。また、この敗戦をもって、弊部の4部残留が決定いたしました。御声援いただいた皆様、誠にありがとうございました。(4年 MG 岩本)



↑3年・齋藤



↑2年・檜山



↑1年・木村

↑4年・川嶋

この試合をもちまして4年生は引退し、11月26日(火)から新チームでの活動が始まりました。入替戦での手応え、悔しさを忘れず、来季での3部昇格を果たすことができるよう、3年生を中心にそれぞれが試行錯誤してまいります。昇格に留まらず、3部で勝つことを見据えて部員一同励んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご声援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



# 冬季オープン戦試合日程

年内に予定されているオープン戦は以下の通りです。結果は SNS でもお知らせする予定ですので、併せてご確認くださいませと幸いです。

試合日	開始時刻	対戦カード	球場
11/30(土)	10:00	横浜国立大 vs 一橋大	一橋大学グラウンド
12/1(日)	10:00	千葉大 vs 一橋大	一橋大学グラウンド

\*先攻後攻未定

## 広島商業高校、神宮大会出場

弊社と 50 年以上交流の続く広島商業高校が、見事広島県大会を勝ち抜き、神宮大会に出場いたしました。現地で応援された高橋様から観戦記をいただきました。

明治神宮野球大会に出場した広島商業の応援に行きました。昔と変わらないユニフォームで活躍する選手を見て、ワクワクかつ嬉しい気持ちになります。

### ■初戦（東海大札幌）

僅か 3 球で得点するなど小技を生かした伝統の攻撃が見事です。

広商 74 期福島前コーチ（前列右から 2 人目）と昭和卒皆さんで応援▶

### ■準決勝（敦賀気比）

広島から部員全員とご父兄が大挙応援に駆け付けます。

あの懐かしの校歌としゃもじの応援を目の当たりにしてテンションがあがります。

前方が約 60 名の部員 白帽子はご父兄 後方には折田校長の姿も▶

### ■決勝（横浜）

攻守に堅実なプレーが光り、伝統の機動力・小技であと一步まで追い詰めました。

相手追加点を阻む西村主将の 3 度のファインプレー、私たちが知っている広商野球が受け継がれています。

表彰式で選手たちを見て、たいへん感動しました。▶

直立不動の荒谷監督の姿もとても印象的です。



\* 来年 1/24 の選考決定を経て、3/18 から春の選抜甲子園が始まりますので活躍を期待しましょう。(文責：S52 高橋雅和)

今月も一球通信をご覧いただきありがとうございます。  
3年マネージャーの林実花です。

さて、誌面内でも掲載いたしました通り、入替戦が終了し、これをもって4年生が引退しました。球場までご観戦に来ていただいた皆様、誠にありがとうございました。

入替戦ではそれほどの実力差は感じられなかったものの、「あと一本」というところで勝ちきれず、3部昇格を果たすことはできませんでした。

新チームではメンタリティも含めて3部相手に勝つことができる強いチームを目指してまいりますので、引き続きご声援、ご支援のほど、よろしく願いいたします。

寒さも厳しくなってきましたので、お体にはお気をつけてお過ごしください。

一橋大学硬式野球部  
3年 林実花

▼一橋大学硬式野球部公式ホームページはこちら

<https://hitotsubashi-bbc.com>

▼「OBOG の方へ」 ページ URL

<https://hitotsubashi-bbc.com/ikkyukai3/>

(パスワード： hitbbc)



——— 公式 Instagram、Twitter のフォローもぜひお願いいたします！ ———



<https://instagram.com/hit.baseball>



[https://twitter.com/hit\\_baseball](https://twitter.com/hit_baseball)

## ご寄稿のお願い

一球通信では OBOG の皆様からのご寄稿文を募集しております。

現役時代の思い出や最近のお仕事・ご活動の様子について、創部 100 周年に向けてのメッセージなど、テーマ・分量は問いませんので、どうぞお気軽にお寄せください。